

5 新川中原住区

1) 基本的な考え方

新川中原住区は、緑と水の軸線である仙川周辺において、丸池の里を中心に公園整備、農地や樹林の保全、水資源の活用などの事業を実施しています。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業により、防災の拠点や多様な機能が融合した元気創造拠点として整備を推進します。併せて、市民センターエリア、農業公園、仙川公園、丸池の里及び新川天神山青少年広場から仙川下流までの連続した大きな緑と水のつながりを「緑と水の連続空間」として緑と水の連続性を活かした新たな空間の創出を検討します。

杏林大学・新川島屋敷エリアにおいては、良好な住環境を確保するとともに、総合的な地域ケアの拠点として整備するため地区計画を定めました。集合住宅の建替えを進めるとともに、周辺環境の整備も誘導することにより、公園的な都市空間整備のモデルとなるよう取り組みを進めます。

特別文教・研究地区の指定をした専門学校がある地域は、文教研究施設としての環境を保持し、特別住工共生地区を指定した地域においては、周辺環境との調和を図りながら、都市型産業の誘導、育成を推進します。

また、農地や周囲の住宅地との調和と坂が多く緑の豊かな地域特性を活かした景観づくりを図るとともに傾斜地のバリアフリー化への取り組みを推進します。

2) 主な事業の方向

- 1 三鷹中央防災公園・元気創造プラザについては、耐震性に課題のある施設の集約を図り都市再生の推進を図るとともに、防災機能を有した施設として地域の防災拠点化を図る他、スポーツや生涯学習、福祉などの複合施設としての利点を活かした事業を進めます。
- 2 バリアフリーのまちづくり基本構想2022（第1次改定）の重点整備路線である都道（吉祥寺通りなど）については、安全で快適な歩行者空間が整備されるよう都に要請します。また、傾斜地が比較的多いことから、傾斜地のバリアフリー化への取り組みを推進します。
- 3 東京外かく環状道路の事業においては、中央ジャンクション蓋かけ上部の整備や、周辺の都市計画道路の整備など、国・東京都が示した「対応の方針」が確実に実施されるように強く要望していきます。また、工事期間中の交通安全対策及び防犯対策等を話し合う「外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会」を地元住民との協働で運営し、地域の安全・安心のまちづくりに取り組みます。多岐にわたる課題について、柔軟に対応できるよう助言者会議等で検討を行うとともに、市民生活への影響に関すること等を三鷹市独自の視点で検討し、外環事業が適切に進捗していくよう国等に要望していきます。
- 4 緑と水の回遊ルートの拠点である丸池の里については、丸池公園の拡張整備や生産緑地・樹林の保全など、緑と水の調和した環境づくりを推進します。また、ルート整備事業として、仙川沿いにある農業公園、仙川公園、新川天神山青少年広場や児童遊園等について、河川を軸とし機能的に連続した整備を図ります。
- 5 閉鎖管理中の環境センターについては、国の交付金等を活用し安全に解体するとともに、跡地の利活用について検討します。
- 6 市の単独処理区である東部処理区については、「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画」との整合性を図りながら、流域下水道への編入に向けて取り組むとともに、東部水再生センターの延命化を図ります。
- 7 農業公園については、市民が農業と緑について親しみ交流するとともに、農業振興や緑化推進を図る拠点として活用します。

5 新川中原住区



凡例

- 平成 26 年度までに完了
- ⋯ 平成 27 年度以降に実施
- まちづくりの主な取り組み事例
- コミュニティ住区界
- - - 三鷹市界
- ⊗ 学校

※まちづくりの主な取り組み事例の範囲等は、おおよそのイメージです。